

# せせらぎ



令和2年12月 7日発行 No.7

今回は、2年生の国語の様子をお伝えします。主人公の「すみれさん」は、小学2年生。2歳の妹「かりんちゃん」のお姉さんです。すみれさんは、宿題をしようと机の上にノートを出しました。ふと窓から外を見るとコスモスがきれいに咲いていました。そのコスモスに水をやろうと外に出ました。しかし、その間に妹が出しっぱなしのノートに何かを書き始めてしまいました。すみれさんが水やりから帰ってくると・・・。

校内研究授業 12/1(火)  
2年国語「わたしはおねえさん」

指導者

ねらい「登場人物と自分を比べながら、想像を広げて読むことができる。」



ジェスチャーを交えて様子を表現しました。

つかむ

1. 「めあて」をもとう
2. 「見通し」をもとう



主人公「すみれさん」について復習しました。「元気」「明るい」「歌が好き」な人。「今日はどんなお姉さんなのかな」というめあてを立てました。

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう



「すみれさん」と「かりんちゃん」役に分かれて音読み、人物像について考えました。

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう



妹が書いた落書きを消しかけて消すのをやめたすみれさんは、どんなお姉さんになったのか、3～20文字ぐらいで自分の考えをノートに書きました。



一人ひとり順番に発表した後、妹の落書きを許した理由についてみんなで考えました。

まとめ

「すみれさんは、いもうとにやさしくできるおねえさん。」

児童は、教科書に書かれていることや役割読み、友達との意見交流などを通して、登場人物と自分を比べながら想像を広げることができました。

授業研究会では、「子供たちは、一生懸命主人公の性格を考えていた。また、役割を決めて音読させたり、主人公の気持ちを付箋紙に書いて掲示したり、その他にもいろいろと授業が工夫されていた。」という意見が出されていました。